

真崎だより

真崎区自治会の令和5年6月～8月

～真崎古墳行灯まつり特集号～



自治会 HP

真崎区自治会

発行者：今泉 謙二

制作：広報・文化委員会

masakiku.koho@gmail.com

各戸配布

<活動実績>

8月26日（土）、真崎区の親睦と子ども達への思い出づくりを目的とした「第16回真崎古墳行灯まつり」が盛大に開催できました。



天候に恵まれて暑い中での開催となった今年の行灯まつりでしたが、みなさんいかがだったでしょうか。自治会ホームページでも写真を掲載しています。ぜひ御覧ください。今年も盛大にまつりが開催できたこと、感謝申し上げます。



※今年も開催にあたり“真崎コミュニティセンター”の全面協力をいただきました。また、真崎区内の各団体（まさき会、フレッシュ会、美咲会、かざぐるまの会、真崎の未来を考える会、友愛クラブ、村小おやじの会）及び自治会各班の班長、そして原電滝坂班の協力をいただきました。

まつりの準備を6月から進めました。その裏舞台をご紹介します。

7月22日、8月6日、8月19日：
実行委員会（全3回）



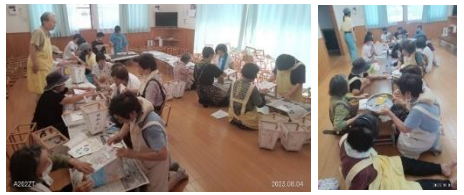
どれだけ「あーよかった」と思えるまつりにできるかは、この実行委員会の内容に左右されます。しっかりと意見を出し合って、煮詰めていきました。

6月17日：行灯の紙切り
（行灯班 まさき会）



行灯のサイズに合わせて、黙々と紙を切りました。

8月4日：行灯の紙貼り
（行灯班 かざぐるまの会）



中学生ボランティアと一緒に約160基の行灯に村小児童が描いてくれた紙を貼りました。

8月5日：大中行灯&舞台行灯の文字入れ（小林先生・中野先生）



まつりへと誘う入口の大行灯。舞台を飾る中行灯と舞台行灯。区内の習字の先生に文字へ気持ちを込めて書いていただきました。



8月16日：テーブル作り



（まさき会&村小おやじの会）

「収納の場所をとらず、使い勝手のいいテーブルが欲しい」という声に応えてくれました。まつり当日、4台が活躍してくれました。

8月19日：予約券販売
（模擬店班）



初の試みとして実施した「予約券」は約100枚を購入していただきました。

8月19日：真崎古墳群除草作業（自治会）、行灯の杭打ち（行灯班 まさき会）



総勢約90名が除草のために集結



除草され、準備が整った中央広場。今年は例年より広い範囲の除草を行いました。そして、午後は行灯を飾る杭を立てました。吹き出る汗がまつりへの気持ちを高めます。



8月25日：前日準備



平日にもかかわらず、多くの年代が集まりました。真崎だけではまつりはできず、村小や原子力機構荒谷台、日本原子力発電からの機材を利用させていただき実施することができます。これに真崎の力を上乗せし、翌日のまつりに想いを寄せつつ、作業を進めました。昼食の「豚丼」。手作り。活力をくれます。→ 